

粉末冶金

第422号

4

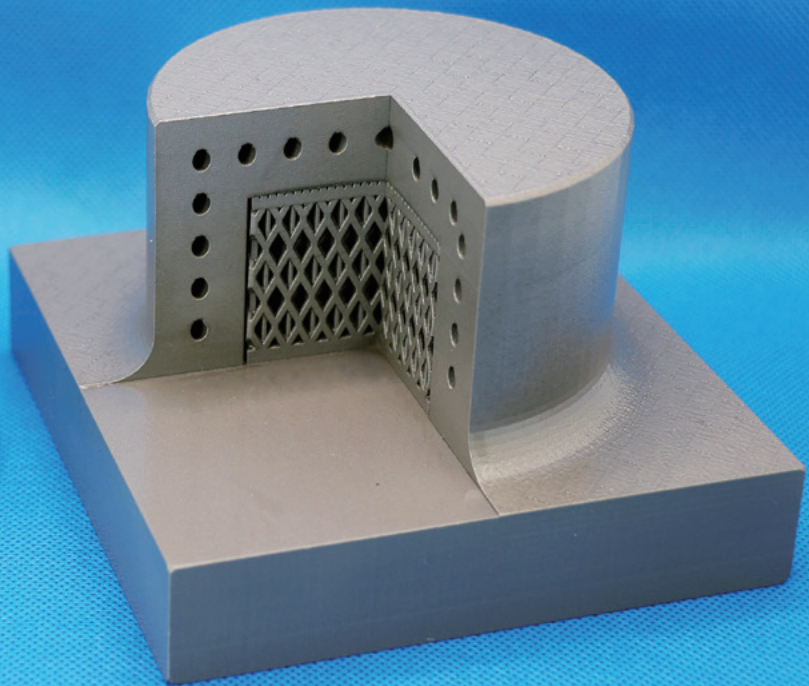


JPMA NEWS

2025

Make a better world with PM

2024 年度工業会賞
原料賞



3D プリンタ用高造形性ダイス鋼粉末
大同特殊鋼株式会社

失敗から学んだイノベーションの本質

株式会社ファインシンター代表取締役社長の山口と申します。この度、エッセイを執筆する機会を頂き、光栄に感じております。

前職のトヨタ自動車では、入社してから係長時代まで、粉末冶金の材料や工法の開発に従事しておりました。当時を振り返ると、私は、民主党政権時代の「事業仕分け」で蓮舫さんからバツサリ切られるタイプの技術屋だったと思います。尊敬していた上司の言葉、「開発は No.2 では意味がない。世界 No.1 を狙うべき！」に従い、昼夜を忘れて技術開発に取り組んでいました。

課長に昇進し、粉末冶金に加え、熱処理、鍛造、プレスなどの複数の分野を担当してからも私は疑問を持つことなく、「No.1 技術を開発し、トヨタ車の競争力向上と、各分野の発展に貢献しよう！」とメンバーを鼓舞していました。しかしある時、ふと自社の歴史を振り返る機会が訪れ、大きな疑問を抱えることになりました。イミテーションから始め、成長してきた自社の自動車事業にとって、要素技術で No.1 にこだわる意味はどれくらいあるのか、と。

その疑問が解消されたのは、約 20 年前の圧粉リアクトル開発の時です。当時、リアクトルは作動音の抑制のため、特殊な電磁鋼板が採用されており、圧粉コアにも同等の材料性能が求められました。非常に難易度の高い技術でしたが、設計の要求通り材料開発を進めることが唯一の解決策だと考え、共同開発先の協力を仰いでプロジェクトを起動しました。「失敗を恐れず挑戦！」と、無謀とも思える挑戦を約 1 年半、多大な工数と費用をかけて行いました。しかし、様々なアイデアを徹底的に評価したものの、性能のばらつきを抑えることができず、開発中止を決断せざるを得ない状況に追い込まれました。その時に初めて、目の前のことに集中し過ぎて、重要な視点を見逃していたことに気づきました。材料だけに着眼していましたが、他の振動対策もあり得るのではないかと。その後、コアからの振動伝達を抑える構造を考案し、採用に繋がりました。

様々な技術を組み合わせ商品力を高める製品開発において、要素技術の開発は選択肢の一つに過ぎないこと、そして技術に溺れることの危うさを痛感した経験となりました。

さて、日本で「失われた 30 年」と言われる経済の停滞が続く中、産業政策やイノベーション政策が重要視されています。その中で、日本の戦後の経済成長を支えた経済学者シュンペーターのイノベーション理論が再評価されています。シュンペーターによれば、イノベーションは、これまで融合できていなかったものの「新結合」によって、新たな価値を生み出す創造であり、技術革新に限らないということです。この考え方は、私のリアクトル開発で体験した苦い経験そのものだと感じます。

さらにシュンペーターは「市場で完全競争をしていてはイノベーションが生まれない」とも述べています。複数の企業が自由競争を繰り広げれば、どの企業も利益を上げることができず、イノベーションや経済発展が望めないと指摘しています。戦後の日本はシュンペーターの教えを実践し、適度な競争を制限することで経済を発展させてきました。しかし、この 30 年間は「市場原理で自由競争を」という政策が主流となり、その結果として「失われた 30 年」となったと言われています。

昨年、業界を取り巻く急激な環境変化の中、業界全体で協力し、新たな市場を開拓していく「粉末冶金技術イノベーションプロジェクト」が起動しました。まさにシュンペーターの教えに沿った取り組みだと思います。乗り越えるべき課題は多々ありますが、イノベーションの本質は技術革新に限らず、「新たな価値」を創造することであることを念頭に置き、結果に拘った取組みにしていけると良いと思います。

高度な技術と高い志を持った日本の業界関係者で力を合わせていけば、必ず新しい未来を切り開けると信じています。日本、そして世界の粉末冶金業界と、そこに関わるすべての人々の明るい将来のために、共に力を尽くしていきましょう。



常任理事

山口 登士也

株式会社ファインシンター
代表取締役社長



<https://www.fine-sinter.com>



私たちの知恵と技術で、
皆さまの豊かな未来を創造します。

 FINE SINTER CO.,LTD.

〒480-0303 愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11

TEL:0568-88-4355 FAX:0568-88-4321



告知板

入会

正会員（4月1日）

[平和産業株式会社](#)

特別会員（3月1日）

[株式会社山田製作所](#)

退会

賛助会員（3月31日）JX 金属商事株式会社

社名変更

☆日立 Astemo 株式会社（4月1日）

新会社名：[Astemo 株式会社](#)

*住所・電話番号等の変更はありません。

会籍変更

☆トーホーテック株式会社（1月1日）

新会社名：[東邦チタニウム株式会社](#)

新住所：〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸1丁目1番1号 JR 横浜タワー 22F

TEL: 045-394-5527 FAX: 045-394-6293

☆テイボー株式会社（4月1日）

新社名：[浜松メタルワークス株式会社](#)

*住所・電話番号等の変更はありません。

「和文年報」 広告募集中

当会・業務委員会が発行する年報は、工業会の1年間の活動状況、統計資料をとりまとめたもので、ユーザー団体、教育機関を含め幅広く配布いたします。

本年報への掲載広告を募集しておりますので是非ご検討いただきますようお願いいたします。

- ◆ 発行部数：1,500 部
- ◆ 発行日（予定）：2025 年 7 月 15 日頃
- ◆ 問合せ： 工業会事務局 (info@jpma.gr.jp)

Technology For The Future

DBX SERIES

- ATC EDITION -



KOBAYASHI
INDUSTRY CO.,LTD.



会議スケジュール

理事会・定時総会

5月23日 機械振興会館

常任理事会

7月18日 工業会会議室

常設委員会・部会

業務委員会

7月3日 工業会会議室

総務部会

7月3日 工業会会議室

広報部会

7月3日 工業会会議室

焼結機械部品技術委員会

4月17日 工業会会議室

軸受部会

5月22日 工業会会議室

プレス技術委員会

6月20日 工業会会議室

原料粉末技術委員会

4月18日 工業会会議室

射出成形粉末冶金委員会

5月14日 工業会会議室

マーケティング委員会

6月19日 工業会会議室

国際規格委員会

5月13日 Hybrid 会議

環境委員会

8月25日 工業会会議室

工業会賞受賞記念特別セッション

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

（一社）粉体粉末冶金協会（以下、JSPM）のご協力を得て、1996年の「春季大会」から工業会賞受賞記念特別セッションを設け、受賞内容の紹介を行っています。

本セッションは、ユーザーの皆様には粉末冶金利用の参考に、研究者の皆様には今後の研究開発の参考にしていただくことを目的としています。多数ご参加いただきますようお願いいたします。

①日時：2025年5月28日（水）

14：30～16：45

②会場：京都大学 宇治キャンパス

宇治おうばくプラザ

第I会場（きはだホール）

③申込方法：

会 員：各社連絡担当者へお配りしている開催案内をご参照のうえ、当会あてに申し込みください。

非会員：工業会賞特別セッションのみの聴講の場合は、工業会Website

(<https://www.jpma.gr.jp/>) TOPICS から申し込みください。

※春季大会の他のセッションを聴講される場合は、JSPM Website (<https://www.jspm.or.jp/>) にて参加登録（有料）が必要になります。

④参加費用：工業会賞特別セッションのみの聴講は無料。

⑤参加申込締切：2025年5月16日（金）



【2024年 工業会賞特別セッション（東京工業大学）】

⑥プログラム

▽アキシシャルモータの高性能化に貢献する両ツバー体圧粉磁心の開発

住友電工焼結合金株式会社 平尾 祐樹 氏

▽電動ソレノイドバルブの高機能化を実現した焼結ブッシュ

株式会社ダイヤモンド 杉本 吏輝 氏

▽成形体加工を有するベーンポンプ用サイドプレートの開発

株式会社ファインシンター 佐藤 謙真郎 氏

▽高周波焼入製品の磁気探傷検査自動化

株式会社ダイヤモンド 林 大作 氏

▽ 3D プリント用高造形性ダイス鋼粉末

大同特殊鋼株式会社 奥村 鉄平 氏

▽流動性を改善した高密度用鉄基混合粉末

株式会社神戸製鋼所 池田 知弘 氏

▽ ADAS 用 ECU 冷却ファン軸受の開発

ポーライト株式会社 濱内 大輔 氏

▽プレス部品とのカシメ接合技術の開発によるアクチュエーター部品の焼結化

株式会社ファインシンター 長谷川 翔平 氏

2025 年度 工業会賞募集

対象：会員限定

2025 年度日本粉末冶金工業会賞の募集を開始しました。詳細は、4 月 15 日付当会発第 001 号募集案内をご参照下さい。応募期限は 6 月 10 日（火）です。

本賞は、粉末冶金の技術向上と需要家への普及拡大を図ることを目的に 1979 年度に創設されたもので、今年度で 47 回目を迎えます。

受賞製品は当会 Website に掲載するほか、国内外の専門誌、新聞にも掲載し、全世界に幅広く紹介いたします。

また、翌年の粉体粉末冶金協会春季大会では「工業会賞受賞記念特別セッション」として、ユーザー、研究者へ直接技術紹介も行います。

昨年度は、工業会賞（奨励賞含む）に 8 件が受賞し、5 年振りに工業会大賞が選出されました。業界発展、自社製品 PR となりますので、是非ご応募下さい。

募集対象は次のとおりです。

*新製品賞（デザイン、材質、製法開発部門）

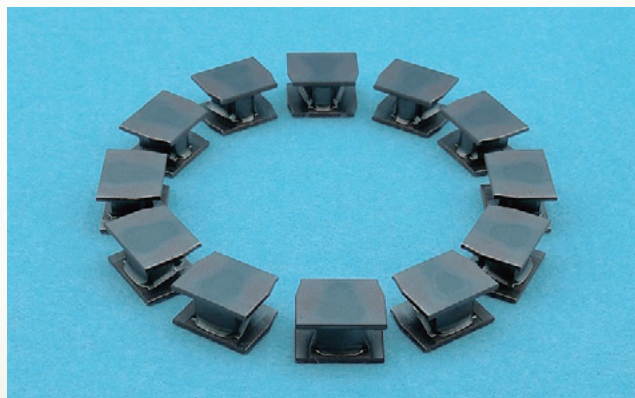
機械部品、軸受合金、摩擦材料、電気接点、集電材料、MIM 部品など、会費算定対象の製品が対象です。

*原料賞

粉末冶金用原料粉、潤滑剤等が対象です。

*設備開発賞

粉末冶金用プレス、焼結炉等設備が対象です。



【2024 年度工業会大賞 受賞製品】
アキシシャルモータの高性能化に貢献する両ツバー体圧粉磁心の開発
住友電気工業株式会社

第13回 人材育成セミナー

対象：会員限定

本セミナーは、広報部会主催で2013年から開催しており、粉末冶金業界に関わる人材の育成を目的としています。初めにテーマに関する基礎知識を学んでいただいた後、グループに分かれて共同作業を行う参加型のセミナーです。毎回参加メンバーによる自由闊達なディスカッションが行われ、一日を通して学びを深めていただきます。

これまでに開催されたテーマは、「創造性開発」、「粉末冶金技術の市場拡大」、「ムダ取り改善手法」などがあり、事後のアンケートは満足度90%以上の高い評価をいただいております。

5月に募集案内をいたします。事務系・技術系を問わず受講いただけますので、ぜひ奮ってご参加ください。



【2024年セミナー グループ演習の様子】

- ①日 時：2025年7月4日(金) 10:00～18:30
- ②場 所：機械振興会館(東京都港区芝公園 3-5-8)
- ③講 師：株式会社RKコンサルティング
代表取締役 丹澤一昭氏
- ④募集対象：若手～中堅社員(入社3年～) 約30名
- ⑤参 加 費：8,000円(会員特別料金)
※昼食、懇親会費込み

- ⑥テーマ：「機能分析法」
機能分析の基本的知識を理解し、事例研究で抜本的な問題解決法を習得する。
◇目的達成ができる機能分析法を学ぶ
◇機能とコストの分析技術を習得する
◇価値向上のためのアイデアを発想する

高温熱処理用メッシュベルト

熱処理製品の作業に欠かせないメッシュベルト、太陽金網がお客様のご要望に応じた規格を選定させていただきます。

メッシュベルト織り方各種

- ・RTK-B：汎用タイプ
- ・RTK-DB：高強度タイプ
- ・RTK-G：小物部品向け
- ・RTK-RR：高温時作業用
- ・RTK-H：滑らかな表面

特殊材料TAILOY®シリーズ(TAILOY®-1：焼入れ用、TAILOY®-3：銅ロー付用、TAILOY®-5：焼結用)など取り揃えております。



TWC 太陽金網株式会社
<http://www.twc-net.co.jp>

本社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-11-7
TEL:06-6261-0851 FAX:06-6261-2446
名古屋営業所 TEL:052-323-1851 FAX:052-323-0101
東北営業所 TEL:022-371-0851 FAX:022-371-0852

東京営業所 〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-9
TEL:03-3493-7851 FAX:03-3493-7115
湘南営業所 TEL:0463-20-5871 FAX:0463-20-5872
九州営業所 TEL:092-929-4031 FAX:092-929-4025

Höganäs

Inspire industry to make more with less

「より少なく」で産業界に貢献します

ヘガネスは、金属粉の技術で持続可能な社会の実現を可能にする資源効率の高いソリューションとして、下記のような用途開発提案と技術支援を行っています。

- E-Axle 用減速機、トランスミッションギヤ、リングギヤ等高負荷焼結機械部品
- モータ、リアクトル、イグニッションコイル等用圧粉磁心
- 固体酸化物燃料電池 (SOFC) と固体酸化物形電解セル (SOEC) 用途粉末
- レーザークラッディング、PTA、肉盛り等表面処理
- Cu-フリーオイルクーラー、熱交換器等高温ろう付け
- 3D プリンティング用粉末
- MIM 及び HIP
- 高機能セラミック粉末

サステナビリティへ

2037 年までに直接排出量と間接排出量の両方の実質ゼロが目標です。

- 2030: 自社工程での排出実質ゼロ (Scope 1 および 2)
- 2030: 原材料を中心に Scope 3 の上流工程で 30% 削減
- 2037: バリューチェーン全体のネットゼロ (Scope 1、2、3 上流工程)



金属粉末は サステナビリティへのソリューションです

金属粉末技術は…

- …リサイクル原料を使用
- …無駄を最小限に抑える
- …エネルギーや労働力などのリソースをより効率的に使用
- …最終製品のリサイクルを簡素化
- …製品ライフサイクルを延長

ヘガネス ジャパン株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号

TOKYO TORCH 常盤橋タワー 915 区

電話 : 03-5931-0000(代表) FAX : 03-5931-1000 e-mail : japan@hoganas.com

委員会の動き

常任理事会

4 月 10 日 工業会会議室

- (1) 2024 年度収支、2025 年度事業計画・予算の審議。
- (2) 2025 年度役員等の選任並びに異動案の審議。
- (3) 工業会賞選考委員会委員構成案の確認、審議。
- (4) 定時総会段取りの確認。
- (5) 工業会賞発表会（特別セッション）段取りの確認。
- (6) 工業会賞募集要領の確認。
- (7) 常任理事会歓迎会実施方針の審議。
- (8) 秋季総会等開催方針の審議。
- (9) 創立 70 周年記念行事の審議。
- (10) PM2024 第 3 回組織委員会開催の確認。
- (11) 素形材産業ビジョン公表の件。

常設委員会・部会

業務委員会

2 月 4 日 工業会会議室

- (1) 次年度総務部会活動計画の審議。
- (2) 2025 年度役員等の選任並びに異動案の審議。
- (3) 賀詞交歓会振返りの審議。
- (4) 粉末冶金交流会の段取り確認。
- (5) 定時総会段取りの確認。
- (6) 業務委員会見学会の実施内容の審議。
- (7) 業務委員会有志ゴルフ開催方針の審議。
- (8) 創立 70 周年記念行事実施方針の審議。
- (9) LCA セミナー候補案、開催方針の審議。
- (10) 工業会主要行事日程の確認。

3 月 26 日 工業会会議室

- (1) 2024 年度収支、2025 年度事業計画・予算の審議。
- (2) 2025 年度役員等の選任並びに異動案の審議。
- (3) 工業会賞選考委員会委員長等委嘱の確認、審議。
- (4) 定時総会段取りの確認。
- (5) 工業会賞発表会（特別セッション）段取りの確認。
- (6) 工業会賞募集要領の確認。

- (7) 粉末冶金交流会振返りの確認、審議。
- (8) 業務委員会見学会等の確認。
- (9) 秋季総会等開催方針の審議。
- (10) 令和 6 年度自主行動計画フォローアップ調査の確認。

総務部会

2 月 4 日 工業会会議室

- (1) 次年度総務部会活動計画の審議。
- (2) 2025 年度役員等の選任並びに異動案の審議。
- (3) 賀詞交歓会振返りの審議。
- (4) 粉末冶金交流会の段取り確認。
- (5) 定時総会段取りの確認。
- (6) 業務委員会見学会の実施内容の審議。
- (7) 業務委員会有志ゴルフ開催方針の審議。
- (8) 創立 70 周年記念行事実施方針の審議。
- (9) LCA セミナー候補案、開催方針の審議。
- (10) 工業会主要行事日程の確認。

3 月 26 日 工業会会議室

- (1) 2024 年度収支、2025 年度事業計画・予算の審議。
- (2) 2025 年度役員等の選任並びに異動案の審議。
- (3) 工業会賞選考委員会委員長等委嘱の確認、審議。
- (4) 定時総会段取りの確認。
- (5) 工業会賞発表会（特別セッション）段取りの確認。
- (6) 工業会賞募集要領の確認。
- (7) 粉末冶金交流会振返りの確認、審議。
- (8) 業務委員会見学会等の確認。
- (9) 秋季総会等開催方針の審議。
- (10) 令和 6 年度自主行動計画フォローアップ調査の確認。
- (11) PM2024 第 3 回組織委員会開催の確認。
- (12) 常任理事会歓迎会開催方針の審議。

広報部会

2 月 4 日 工業会会議室

- (1) 2025 年度委員会活動計画の確認。
- (2) LCA セミナー開催内容の審議。

3 月 26 日 工業会会議室

- (1) 70 周年記念事業ホームページリニューアルの審議。
- (2) 人材育成セミナー開催テーマの審議。

軸受部会

2 月 21 日 工業会会議室

- (1) 軸受寿命に関する調査報告及び意見交換を実施。
- (2) CN, 電動化用途例の提案。
- (3) 「理想の焼結工場」改訂版について内容を精査。
- (4) 粉末冶金技術イノベーションプロジェクト開発テーマについて意見交換を実施。

プレス技術委員会

3 月 21 日 工業会会議室

- (1) トラブル事例について製品メーカーから紹介。
- (2) プレス機の構造や機能紹介。
- (3) 新規 PJ 活動「こんなことできないか」とりまとめ方法について意見交換を実施。

原料粉末技術委員会

1 月 23 日 工業会会議室

- (1) ISO 会議報告。
- (2) 次年度活動計画の決定。
- (3) 充てん性指標に関する指針作成を決定。
- (4) 新規 PJ 活動関連情報紹介
「カーボンニュートラル活動の紹介」
「カーボンフリーに関する取り組みの紹介」

射出成形粉末冶金委員会

2 月 6 日 工業会会議室

- (1) PIM International 広告掲載方針の決定。
- (2) ISO 会議及び投票結果報告。
- (3) ISO 投票方針の決定。
- (4) MIM 市場調査内容の確認。
- (5) CO₂ 排出量調査実施方針の決定。
- (6) MIM 共同展示について意見交換を実施。
- (7) GPMD 活用状況の確認。
- (8) MIM 講習会 - 初級編の講演内容の確認。
- (9) 粉末冶金技術イノベーションプロジェクト概略説明を実施。

マーケティング委員会

3 月 6 日 工業会会議室

- (1) 2025 年度マーケティング委員会活動計画の確認。
- (2) 他製法調査発表【樹脂成型】。
- (3) 工法別調査のグループワークによるまとめ作業。

環境委員会

3 月 17 日 工業会会議室

- (1) 環境自主行動計画フォローアップ調査委内容の決定。
- (2) 新規 PJ 活動 (CO₂ 排出量調査) に関する進捗状況を報告。
- (3) 環境に関する情報 (再生エネルギー、環境活動) 紹介。

その他委員会

委員長連絡会

2 月 7 日 工業会会議室

- (1) 常設 11 委員会・部会の委員長・部会長から 2024 年度活動報告、2025 年度活動計画及び予算要求を説明、意見交換。
- (2) 2025 年度工業会主要行事日程を報告。
- (3) 粉末冶金技術イノベーションプロジェクト概要説明及びプロジェクト推進協力を要請。

新規 PJ 委員会

2 月 7 日 工業会会議室

- (1) 第 2 回 CO₂ 排出量調査結果報告及び意見交換を実施。
- (2) 各委員会部会の活動推進状況を報告。
- (3) 今後の新規 PJ 活動方針の決定。

3 月 11 日 Web 会議

- (1) 会員向け第 2 回 CO₂ 排出量調査結果報告会を実施。
15 社 27 名参加

第 3 回 MIM 講習会 - 初級編

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

当会・射出成形粉末冶金委員会（以下、MIM 委員会）は、金属射出成形（以下、MIM）の若手育成、啓蒙、業界活性化として第 3 回目となる MIM 講習会 - 初級編を 2025 年 3 月 7 日（金）機械振興会館で開催いたしました。本講習会は会員・非会員問わず広く参加を募集し、22 社 57 名（内非会員は 7 社 10 名、講演者、関係者含まず）と多数の方に聴講いただきました。



当日は MIM 委員会委員の谷川竜一氏（福田金属箔粉工業株式会社）が司会を担当し、冒頭 MIM 委員会委員長である寺田洋文氏（ティボー株式会社）の挨拶が行われ、下記講演をいただきました。

- | | |
|---|---|
| ① JPMA 紹介、MIM 委員会活動及び市場動向について
日本粉末冶金工業会 綿貫 裕介 | ④ MIM の二次脱脂工程の時間短縮
日本ピストンリング株式会社 矢上 皓凱 氏 |
| ② MIM (Metal Injection Molding)
東京都立大学 長田 稔子 氏 | ⑤ 外観不良における原因追及と改善について
太盛工業株式会社 森岡 成哉 氏 |
| ③ 成形不良対策（金型改造）事例
ティボー株式会社 小楠 直弥 氏 | ⑥ 神戸製鋼所の鉄粉事業
株式会社神戸製鋼所 北条 啓文 氏 |

各講演とも活発な質疑応答が行われ終了後、交流の場として懇親会を開催しました。今後も MIM 委員会は業界発展のため各種活動を継続していきます。

尚、来年度（2026 年 3 月）は MIM 講習会 - 中級編の開催を予定しております。

第 20 回粉末冶金交流会

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

2024 年度粉末冶金交流会を 3 月 14 日（金）、機械振興会館で開催いたしました。

参加者は、会員 25 社 76 名、非会員 11 社 17 名、関係者を含め 105 名と多数の皆様にご聴講いただきました。

本交流会は会社規模の大小にかかわらず、各社の交流を通して研鑽を図ること、また、当会会員を増やすことで粉末冶金工業の発展をより力強いものにするとの趣旨で 2004 年度から開催しています。

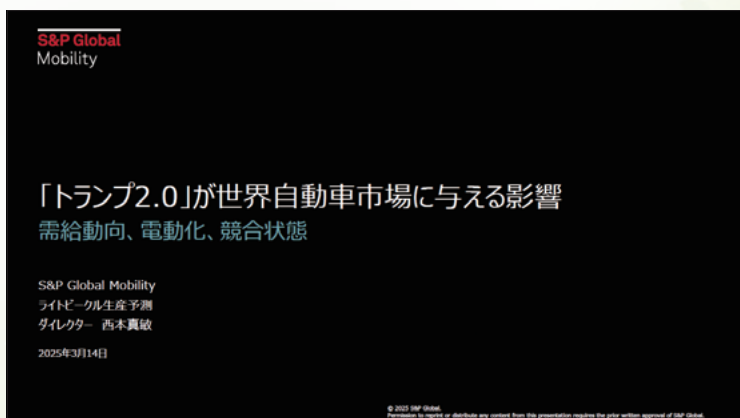
講演会は下記 4 件の講演、ならびに新規に入会された 3 社の事業概要を紹介していただきました。

◎自動車市場動向

『「トランプ 2.0」が世界自動車市場に与える影響』



S&P Global ディレクター
西本 真敏 氏



◎招待講演（1）

「焼結炉の変遷と
最新設備について」



株式会社ゼイテクトサーモシステム
先行技術開発部
副部長 山本 亮介 氏

◎招待講演（2）

「異業種間連携の実績と
パルス焼結の可能性」



株式会社アマダプレスシステム
西日本営業部
課長 山本 一 氏

◎招待講演（3）

「工場の脱炭素に向けた
水素利活用の取組み」



株式会社神戸製鋼所
機械事業部門 新事業推進本部
新事業企画部 次長 今用 浩司 氏

◎新規入会 3 社の事業紹介



Osterwalder Japan 株式会社
神谷 沙織 氏



東邦チタニウム株式会社
大槻 亮輔 氏



株式会社 TYK
久保 雅崇 氏

冒頭に橋本業務委員長（ポーライト株式会社）から、「初めに当会と一般社団法人粉体粉末冶金協会の共催で発足しました『粉末冶金技術イノベーションプロジェクト』についてご紹介させていただきます。次に、粉末冶金の主要な需要先である『自動車産業の将来予測並びにカーボンニュートラルや省エネ、生産効率向上等に寄与する製品や最新技術』の講演をお願いしております。当業界を取り巻く環境についてご理解を深めていただければ幸いです。」とご挨拶をいただきました。

講演後の懇親会は、業界内外の人的交流を図ることが一つの目的です。今回は、多数の非会員の方々にもご参加いただき、意見交換を行ったほか、参加者同士の懇親を深めることができました。

懇親会の中締めは、増本広報部会長（福田金属箔粉工業株式会社）が音頭をとり、「粉末冶金技術イノベーションプロジェクトにご参加いただき、将来の粉末冶金業界を盛り上げていきましょう。」とご挨拶され、懇親会の締めくくりをされました。

当会では、各委員会が電動化、カーボンニュートラル等に対応するテーマを設定し、情報の調査・共有及び協業活動などの取組を推進しています。将来の市場創出に向け、工業会を有効にご活用いただきたいと存じます。



講演会の様子

テレビ埼玉にポーライト株式会社が紹介

テレビ埼玉「ググっと！ 製造業 シーズン 2」において 2025 年 3 月 24 日（月）にポーライト株式会社が紹介されました。本番組は、下記コンセプトに基づき埼玉県内各地の企業を紹介するものです。

- 番組コンセプト：「古くから日本経済をけん引してきた製造業。そこには長年培われてきた技術はもちろん、職人たちのこだわりや工夫、アイデアなど、ものづくりの根幹となる魅力が詰め込まれています。そんな魅力を多くの人に伝えようと、司令官ググっと！ボスのもと、5人の調査員達が県内各地の中小製造業に取材に行き、製造業に隠された数々の魅力をググッと掘り下げる。」

ポーライト株式会社は、昨年 2024 年 7 月にさいたま市から北足立郡伊奈町に本社移転し、番組内では新社屋の一部が紹介されています。下記 URL から視聴いただけます。

YouTube <https://youtu.be/6Y02nBU0SUM>



工場自動化設備



菊池社長（当会常任理事）

真空熱処理炉『TITAN』& 真空脱脂焼結炉『DS』シリーズ



- 従来の受注生産ではなく仕様を絞ったロット生産（TITANのみ）
- 従来比約40%の省設置スペース（当社比）
- 短期据付設置、試運転立上げ
- 20カ国以上の言語に
対応可能なグローバル仕様
- AMS2750、Nadcapなどの
規格に対応可能
- 多彩なオプション

アフターサービス充実！
他社炉のメンテナンス対応実績有！
製品の詳細など、お気軽にお問合せください



Ipsen株式会社 〒538-0032 大阪府大阪市鶴見区安田2-3-2 TEL: 06-7506-9705 sales-jp@ipson.co.jp / www.IpsenGlobal.com

2024 年粉末冶金製品生産

経済産業省統計による2024年暦年（1～12月）の粉末冶金生産実績がまとまりました。

品目別生産実績を表1、需要業種別生産量を表2に示します。

全体では、重量が67,221トン（前年比▲9.7%）、金額が1,467億円（同▲6.3%）となりました。このうち、機械部品は、重量が61,225トン（前年比▲9.9%）、金額が1,010億円（同▲7.0%）。軸受合金は、重量が4,053トン（前年比▲9.5%）、金額は158億円（同▲2.2%）となりました。

主要な需要先である自動車産業における国内自動車生産台数（日本自動車工業会）は、前年比8.5%減の823万台、国内販売は、前年比7.5%減の442万台と国内生産・販売とも減少に転じました。

主力の輸送機械用機械部品については、重量が57,664トン（前年比▲9.5%）で機械部品に占める構成比は94.2%と前年より0.5ポイント増加しました。輸送機械用軸受合金は、重量が2,925トン（同▲8.7%）で、輸送機械向けについては、自動車の生産減に連動し、機械部品、軸受合金ともに前年比マイナス幅が拡大しました。

表1 粉末冶金製品の品目別生産実績表

品目	重量 (t)	前年比 (%)	金額 (百万円)	前年比 (%)
軸受合金	4,053	90.5	15,763	97.8
機械部品	61,225	90.1	100,989	93.0
摩擦材料	736	92.5	8,032	103.8
電気接点	52	73.5	2,150	98.0
その他	1,155	102.8	19,758	89.9
合計	67,221	90.3%	146,691	93.7%

表2 軸受合金、機械部品の需要業種別生産量

品目	需要業種	重量 (t)	前年比 (%)	構成比 (%)
軸受合金	輸送機械用	2,925	91.3	72.2%
	その他用	1,129	88.6	27.8%
	計	4,053	90.5	100.0%
機械部品	輸送機械用	57,664	90.5	94.2%
	その他用	3,561	83.1	5.8%
	計	61,225	90.1	100.0%

工業会統計

年 月	粉末冶金製品生産金額（百万円）							原料粉出荷量（トン）	
	軸受合金	機械部品	摩擦材料	電気接点	集電材料	その他	合計	鉄粉	銅粉
2019 年度	1,285	9,479	475	3	123	333	11,698	9,008	351
2020 〃	1,179	7,854	432	1	133	334	9,934	7,107	326
2021 〃	1,415	8,904	635	3	132	453	11,543	8,070	374
2022 〃	1,252	8,247	676	2	149	453	10,779	7,193	302
2023 〃	1,342	8,553	617	2	140	449	11,103	6,346	289
前年度比%	107	104	91	73	94	99	103	88	96
2024 年 2月	1,306	8,124	581	0	109	414	10,534	6,414	326
3月	1,378	8,530	627	1	132	403	11,071	6,435	332
4月	1,330	7,826	746	1	193	450	10,547	5,602	283
5月	1,322	7,711	768	1	179	435	10,416	5,323	271
6月	1,401	8,042	738	3	196	422	10,802	6,965	270
7月	1,516	8,824	793	7	211	492	11,842	6,884	302
8月	1,181	6,698	652	1	174	411	9,116	4,760	284
9月	1,280	8,280	737	3	204	448	10,951	6,539	259
10月	1,335	8,609	821	2	229	527	11,523	5,941	328
11月	1,348	8,218	774	1	177	482	11,000	6,444	295
12月	1,125	7,849	687	2	192	487	10,341	6,455	304
2025 年 1月	1,136	7,787	737	2	218	467	10,347	6,088	245
2月	1,185	7,870	760	1	204	503	10,522	5,822	245
前年同月比%	91	98	131	261	187	121	101	91	75

（注1）「その他」は磁性材料硬質も含む。

（注2）生産金額は消費税を含む。

（注3）前年比・前年同月比は同一企業数で計算。

（注4）前年度比、前年同月比は消費税抜き金額で比較。

簡易で即効性のある
省力化投資に **カタログ注文型**補助率
1/2以下補助上限額
最大 **1,500**万円

- 対象製品のリスト(カタログ)に登録された汎用製品から事業課題に合わせて省力化製品を選択できます。
- 申請手続きが簡易で、申請から交付決定まで最短1ヶ月。随時公募受付のため、いつでも申請が可能です。
- 省力化製品の「販売事業者」が、省力化製品の導入と補助金申請・手続きをサポートします(共同申請)。

「販売事業者」の
選択肢が広がり、
より使いやすくなりました!補助対象
(カタログ掲載)
製品の
カテゴリ例▶

どんどん追加中!



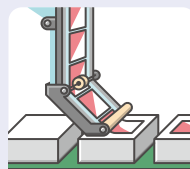
清掃ロボット



券売機



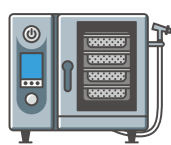
無人搬送車 (AGV・AMR)



オートラベラー



5軸制御マシニングセンタ



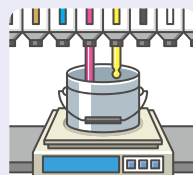
スチームコンベクションオーブン



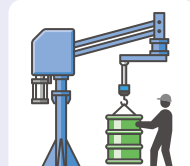
配膳ロボット



測量機



印刷用インキ自動計量装置



バランス装置

サービス業から
製造業まで、
様々な業種
向けの製品を
ラインアップ!

※一部の省力化製品は、置き換えであっても申請可能です。

人手不足解消に効果のある「省力化投資」を後押しする補助金が
さらに活用しやすくなりました!中小企業 **省力化投資補助金**事業内容に合わせて多様な
設備やシステムが導入できる **一般型 NEW!**

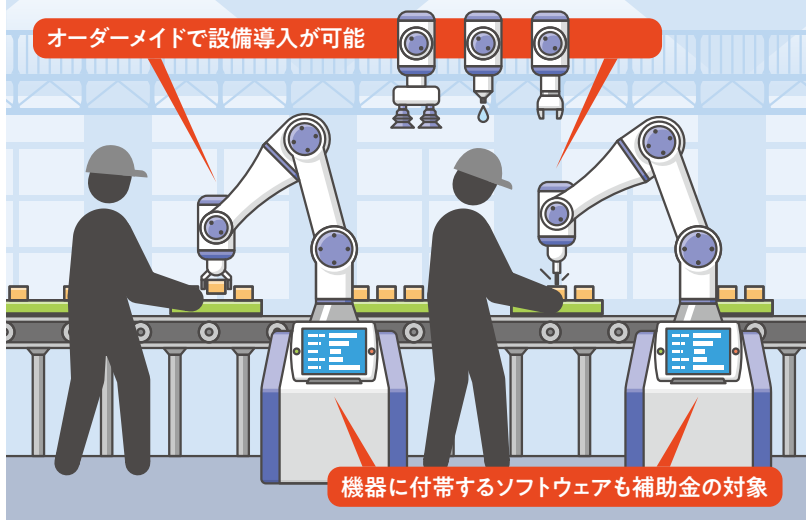
補助率※

中小企業 **1/2** | 小規模・再生 **2/3**

補助上限額

最大 **1**億円

オーダーメイドで設備導入が可能



機器に付帯するソフトウェアも補助金の対象

- オーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備導入・システム構築など、多様なニーズに応えます。
- 公募回制で、省力化指数などに関する詳細な事業実施計画を作成。3ヶ月程度の審査を経て、交付決定されます。
- 大幅賃上げ特例(補助上限額アップ)、最低賃金引き上げ特例(補助率2/3にアップ)があります。

例えば、
通信販売事業で

オンラインショッピングの顧客数・購買量の増加に対応するため、自動梱包機と倉庫管理システムをオーダーメイドで開発・導入

例えば、自動車関連
部品製造事業で

検査が難しい微細な部品製造を効率的に行うため、現場に合わせ、最新のデジタルカメラやAI技術を活用した自動外観検査装置を導入

※補助金額1,500万円までは1/2もしくは2/3(小規模・再生事業者)、1,500万円を超える部分は1/3。

中小企業省力化投資補助金とは、 人手不足解消に効果のあるロボットやIoTなどの製品や設備・システムを導入するための経費を国が補助することにより、中小企業の省力化投資を促進し売上拡大や生産・業務プロセスの効率化を図るとともに、賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

Be a Great Small.
中小機構

カタログ注文型

随時申請
受付中

一般型

公募回制

補助対象となる事業

中小企業などが省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

中小企業などが省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

カタログ注文型・一般型それぞれ要件が異なりますので、必ずそれぞれの公募要領をご確認ください。
カタログ注文型・一般型は、補助対象経費が異なれば併用可能です。

補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2 以下	200万円	300万円
6~20名		500万円	750万円
21名以上		1,000万円	1,500万円

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

補助上限額がアップする【大幅賃上げ特例】の適用要件

事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります
※上記①、②のいずれか一方でも未達の場合、補助額の減額となります。

従業員数	補助率※	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2 中小企業 小規模・再生	750万円	1,000万円
6~20名		1,500万円	2,000万円
21~50名		3,000万円	4,000万円
51~100名	2/3	5,000万円	6,500万円
101名以上		8,000万円	1億円

※補助金額1,500万円までは1/2もしくは2/3(小規模・再生事業者)、1,500万円を超える部分は1/3。

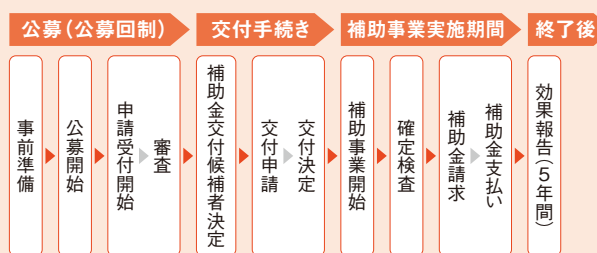
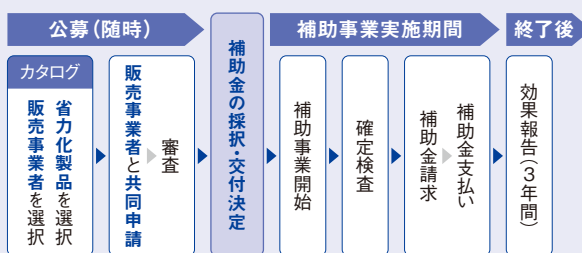
補助上限額がアップする【大幅賃上げ特例】の適用要件

①給与支給総額の年平均成長率+6%以上増加 ②事業場内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+50円以上の水準
※最低賃金引き上げ特例事業者は除く。※上記①、②のいずれか一方でも未達の場合、各申請枠の従業員規模別の補助上限額との差額について補助金を返還。

補助率が2/3にアップする【最低賃金引き上げ特例】の適用要件

中小機構が指定する一定期間において、3か月以上地域別最低賃金+50円以内で雇用している従業員が全従業員数の30%以上いること
※小規模・再生事業者は除く。※補助金額1,500万円までが引き上げ対象となります。

申請から事業完了までの流れ



本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから
中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで
あらかじめ上記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル

0570-099-660

IP電話などからの
お問い合わせ

03-4335-7595

● 受付時間：9:30~17:30／月曜~金曜(土・日・祝日除く) ※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がらない場合は、しばらくたってからおかけ直しください。

カタログ
注文型省力化製品に関わる工業会・
製造事業者・販売事業者のみならずカタログ登録
サポートセンター03-6746-1530
でご相談受付中!

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。